センター通信　第256号

2008年6月30日発行

名古屋エスペラントセンター　Nagoja Esperanto-Centro
461-0004名古屋市東区葵一丁目26-10ユニーブル新栄301号
郵便振替　00840-8-40765［名古屋エスペラントセンター］
http://homepage2.nifty.com/nagoja-esperanto/

第57回東海エスペラント大会は犬山で開かれ、若い二人のエスペランティストが講演

一般公開講演で日本統治期の朝鮮語教育について話すやまだ寛人さん▲

▼日本語習得の実践体験を語るグェン・チ・タン・ナーさん

目　次

第57回東海エスペラント大会は犬山で　--- 1
第57回東海エスペラント大会 山田義　----- 2
センター総会の質疑・意見等について
　伊藤俊彦　---------- 5
維持員名簿　---------- 6
会計報告　鈴木善彦　---------- 7
出版会会計報告　山口真一　---------- 8
図書部会計報告　山口真一　---------- 9
「センター通信」の受け取り方法　-------- 10
編集後記　---------- 10

山田　義

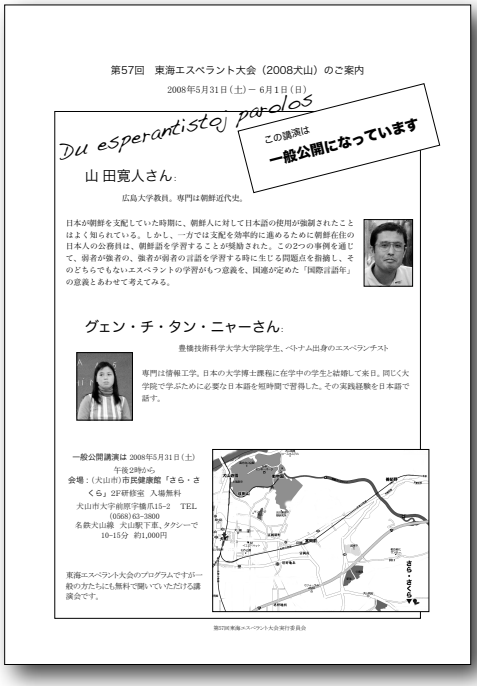
第57回東海エスペラント大会 (La 57a Esperanta Kongreso de Tokaj)は5月31日― 6月１日に開かれた。

参加者は30数名だった（参加者29名のうち不在参加が３名そして１日目の公開講演会には一般から参加者が３名あり、計32名）。２日目の分科会は分科会があり、「凧つくり」に10名、「エスペラントで歌う」に７名、「エスペラントで遊ぼう」に４名、「初級会話」は参加者が少なく中止した。　名古屋エスペラントセンターは本の販売を引き受けた。エスペラント教室も売店も開いた。会計は後藤好美さんが担当した。遠隔からの講師の旅費も、東海地方内外の数人から寄付が寄せられまかなうことができた。

今回は実行委員会を作って、去年の末ごろから準備が黒柳吉隆さんを中心にして始まった。会場を犬山でやろうということになって、地元の犬山エスペラント会の何人かには会場探しや申し込みなどいろいろと協力していただいた。４月には都合により実行委員会の責任を私が引き受けたが、周到な打ち合わせをする機会も少なくて当日となった。一般公開講演のチラシも犬山エスペラント会の手で配布された。会場にかける　La　57a Esperanta Kongreso de Tokaj の横断幕は竹崎睦子さんが回数の数字も整え持って来てくれ、全体写真を飾ることができた。

一般公開講演は私、山田義の司会で犬山市市民健康館「さら・さくら」で行った。夕方からは犬山国際ユースホステル「リバーサイド犬山」に移動、一泊して翌日は午前中で閉会した。

31日の２時から一般公開講演の講師は若いエスペランティストが二人担当した。ひとりは、名古屋出身の広島在住の広島大学教員で朝鮮近代史専門の山田寛人さん。日本が朝鮮を支配していた時期に、支配を効率的に進めるために朝鮮在住の日本人の公務員は朝鮮語を学習していたことを当時の記録から統計をとりその言語政策の論説を数字を示しながら話した。


第57回　東海エスペラント大会（2008犬山）のご案内

2008年5月31日（土）－ 6月1日（日）

Du esperantistaj parolos

この講演は
一般公開になっています

山 田寛人さん:

広島大学教員。専門は朝鮮近代史。

日本が朝鮮を支配していた時期に、朝鮮人に対して日本語の使用が強制されたことはよく知られている。しかし、一方では支配を効率的に進めるために朝鮮在住の日本人の公務員は、朝鮮語を学習することが奨励された。この2つの事例を通じて、弱者が強者の、強者が弱者の言語を学習する時に生じる問題点を指摘し、そのどちらでもないエスペラントの学習がもつ意義を、国連が定めた「国際言語年」の意義とあわせて考えてみる。

グェン・チ・タン・ニャーさん:

豊橋技術科学大学大学院学生、ベトナム出身のエスペランチスト

専門は情報工学。日本の大学博士課程に在学中の学生と結婚して来日。同じく大学院で学ぶために必要な日本語を短時間で習得した。その実践経験を日本語で話す。

一般公開講演は 2008年5月31日（土）
午後2時から
会場：（犬山市）市民健康館「さら・さくら」2F研修室　入場無料
犬山市大字前原字橋爪15-2　TEL (0568) 63-3800
名鉄犬山線　犬山駅下車、タクシーで10-15分　約1,000円

東海エスペラント大会のプログラムですが一般の方たちにも無料で聞いていただける講演会です。

第57回東海エスペラント大会実行委員会

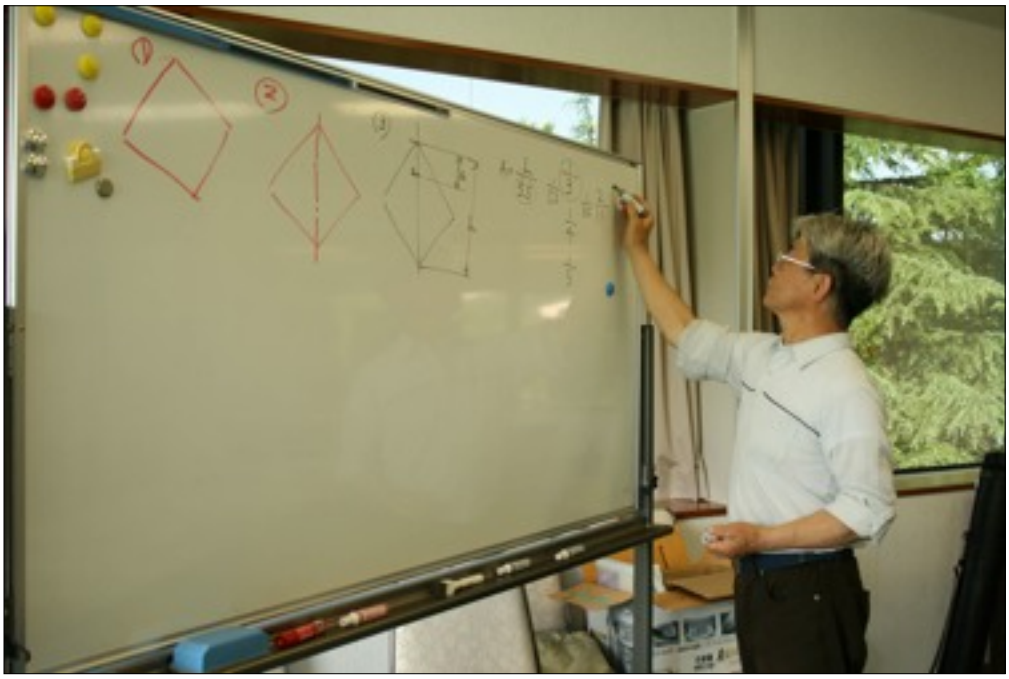
グェン・チ・タン・ニャーさんが、大学院で学ぶために必要な日本語習得の実践体験を習いたての日本語で話した。文法と単語と発音の観点からエスペラントと日本語を対比した。

ユースで夕食、その後は集会室で最近のエスペラント大会の参加報告があった。司会は山田シマ子さん。はじめに、磯部晃さんは中部国際空港の言語ボランティアとして、横浜UKのために入出国した人を出迎え見送ったことをエスペラントで話した。前田愛子さんは恵那で開かれた交流会とUK

で知り合った人を紹介した。盲導犬を連れて一人で横浜入りした中村進さんは、恵那の交流会で知り合ったオーストラリアの男性が声をかけてくれたという話で聞く者をほっとさせた。今年のアジア大会参加のためにインドを旅したAkiraさんの話でこの国のエスペラント事情を理解した。山田シマ子さんは、UKで富士山観光の世話人をしたこと、アジアからの若者を受け入れたことを話した。ベトナムのグエットさんは今回の講師ナーさんの妹。エスペラントによるビンゴを斎木昌代さんが準備して来てくれた。

２日目午前中の分科会では、エスペラントで遊ぶ、エスペラントで歌う会や磯部晃さんがエスペラントで指導する凧（たこ）つくりがあった。朗読大会では8人が参加、手話を交えて読む人、詩を暗唱する人などもいた。昼食はさら・さくらに戻って楽しんだ。

今回はエスペラントを話す機会が少なかったように思う、参加者がだれでもエスペラントで発言できる機会を今後はもうけたい。



凧つくりで計算機を使って講義する磯部晃さん

新聞紙で凧を作り上げた前田可一さん

出来上がった凧を挙げて見る山口博正さん

センター総会の質疑・意見等について

伊藤俊彦

２００８年3月２２日（土）、センター総会を開催しましたが、その際の担当者からの口頭報告、質疑・意見等を取りまとめてみました。

1　会計（鈴木）

・図書部からの借入金が現在70万円ある。これを返してはどうか、いっそ寄付にしてしまってはどうか等の意見が出た。

・会費だけでは最小限の家賃等の固定費もまかなえないのかという質問があった。会計の回答は、現在の会員数だと年間の会費収入は57万円ぐらいだが、家賃等だけでも67万円かかるので、毎年10万円程度の赤字になる、というもの。

・東海大会にも積極的に参加するなど、もっと収入を増やすことを考えないといけないのではないか。寄付をあてにしてやりくりするだけではいけない。

・センターは発足当時から、もともと赤字体質で、やむを得ないのではないか。

・会費の督促をもっと頻繁に行ってはどうか。

2　出版会（山口）

出資金を昨年は180万円ほど返還した。現時点での出資金残高は66万円。

3　図書販売（山口）

・掛売は中止したが、それでもまだ過去の売掛金が35万円以上残っている。大口債務者が複数いる。長いこと督促していないので、督促する。

・図書販売業務について、サービスができる体制になっているか。これだけの労力を費やして行うだけのメリットがあるか。現在は学習書、辞書中心。文芸書、専門書などの仕入は、在庫が増えるばかりなので、ここのところやっていない。JEI、KLEG等に在庫があるものは、直接に注文したほうが早い。

・在庫の安売りはしない。

・出張販売にもっていくと本が傷むので、動かしたくない。

・JEI、KLEG等にもないものが在庫しているという例も稀にある。

4　蔵書（猪飼）

・豊田元樹蔵書を譲り受けた。ダンボール箱に入れたままセンターに置いてある。

・竹中蔵書については、雑誌は猪飼の自宅にある。山田が少しずつ整理している。

5　センター通信（山田）

・センター通信のメール配信について

紙による形態を廃止するか、両方やるか、どちらにしてほしいか会員に希望を聞く。メールマガジンを送るとして、バックナンバーをホームページに載せるかどうか。個々人がバックナンバーにアクセスできるとよい。

・地方会にも29部送っている。これもどうするか希望を取るか。

6　ホームページ（湯浅）

・アクセス数は例年の半数に満たない。毎月内容を更新すべきである。例えば竹中蔵書の整理の進捗状況を掲載するとか。あるいは更新状況をERAJに報告するとか。

7　総務（山田）

・中古の掃除機を入手した。

・使用予定のないビデオ付きテレビがあり、処分したい。

・パソコン、プリンタも古くなって使えないので、データともども片付けたい。

・畳は所有者に持ち帰ってもらう。

・センターの維持員でない者が、鍵を維持員から借り、それをコピーして使用している節がある。勝手に部屋の鍵を複製し使用することは許されない。委員会で事実を調べて対処してほしい。★

名古屋エスペラントセンター維持員名簿

猪飼吉計	愛知県蟹江町	柘植巳知彦	愛知県東浦町
石原松生	愛知県日進市	富田伴七	名古屋市守山区
市岡邦子	岐阜県瑞浪市	永瀬義勝	名古屋市中区
伊藤浩治	愛知県尾張旭市	中山　緑	東京都江東区
伊藤太郎	名古屋市天白区	西尾晴孝	愛知県犬山市
伊藤俊彦	愛知県岩倉市	野尻和秀	岐阜県可児市
伊藤真理子	愛知県尾張旭市	萩原将矢	愛知県碧南市
伊藤良子	愛知県常滑市	長谷川勉	岐阜県各務原市
瓜生秀明	愛知県蟹江町	林　和治	埼玉県川越市
大磯英雄	名古屋市千種区	藤本日出子	岐阜県山岡町
片山正昭	名古屋市昭和区	堀　和子	名古屋市守山区
河瀬　薫	揖斐郡池田町	堀 宣雄	名古屋市守山区
川地貴子	名古屋市守山区	前田愛子	名古屋市東区
川地善則	名古屋市守山区	前田可一	名古屋市東区
北村須賀子	名古屋市千種区	松窪秀司	名古屋市名東区
紀太良平	三重県津市	松原八郎	大阪府岸和田市
栗山明美	名古屋市瑞穂区	森 栄子	名古屋市北区
黒柳吉隆	愛知県豊田市	森田　明	名古屋市昭和区
河野敏宏	愛知県瀬戸市	森テル子	愛知県春日井市
後藤正治	愛知県稲沢市	山口紘一	名古屋市緑区
後藤好美	愛知県犬山市	山口真一	名古屋市天白区
杉原　直	名古屋市守山区	山口博正	愛知県豊橋市
鈴置二郎	神戸市東灘区	山田シマ子	愛知県豊明市
鈴木圭子	愛知県岡崎市	山田　義	愛知県豊明市
鈴木　淳	千葉県東金市	湯浅典久	愛知県一宮市
鈴木善彦	愛知県岡崎市	米川五郎	愛知県知立市
竹中燦太郎	愛知県西枇杷島町	渡辺真理	名古屋市天白区

２００７年会計報告

会計:鈴木善彦

2007年の収入･支出・借入金は次のとおりである。

収　入	
2006年繰越金	2,225,259
会費	503,500
寄付	38,655
その他	341,474
小計	856,025
鍵使用料（3人)＊	25,000
計	3,133,888

支　出	
家賃	428,400
共益費	151,200
保証協会	7,500
電気代	83,249
切手代等(郵送代)	48,100
用紙･文具類	5,778
手数料	2,760
その他	205,548
小計	932,535
2007年繰越金	2,201,353
計	3,133,888

借入金		
借入金	図書部	700,000
天風基金		200,000
ｵﾙｷｰﾄﾞｲ		191,955

2007年繰越金内訳		
	郵便振替口座	590,488
	現金	102,276
	郵便貯金	615,052
天風基金		893,537
計		2,201,353

2007年の収入支出の主な概要

収入のその他は愛知県からの講演会補助100,000円及びGAOさん、Nguyetさんの歓迎会、ザメンホフ祭での収入が主なものです。
支出の主なものは天風基金への組み入れ（返済）、歓迎会、ザメンホフ祭での支出、NIA会費等が主なものです。
繰越金は前年度からの2,225,259円から次年度への2,201,353円と23,906円減少しました。2007年中の寄付は上記のとおりで38,655円でした。
　寄付していただいた方にはあらためてお礼申し上げます。

委員会等	5,470
川地善則	3,000
豊田和子	20,000
市岡邦子	3,000
長谷川了示	1,000
猪飼吉計	885
鈴木善彦	300
伊藤良子	5,000
計	38,655

センターの鍵所有者

　2007年中に藤本日出子さん、山口博正さん、森田明さんの3人の方に新たにセンターの鍵所有者となっていただきました。センターの鍵があればいつでもセンターを利用することができます。使用料は新規の方は1万円ですが、返却時に5,000円をお返ししますので、維持員の皆さんぜひ鍵を所持して、センターに来ていただければと思います。ご希望の方は鈴木（RA：suzukijo@catvmics.ne.jp）までご連絡ください。★

2007年度出版会決算書

山口真一

2007年度出版会決算書							
貸借対照表（2008年2月29日）							
科目	前期累積支出	当期支出	累積支出	前期累積収入	当期収入	累積収入	備考
売上回収金				6 819 603	840	6 820 443	
売上外収入				1 204 371		1 204 371	寄付金
出版費	7 744 050		7 744 050				
諸経費	624 465		624 465				
棚卸高				3 702 250	-600	3 701 650	
通算剰余金	3 357 709	240	3 357 949				
計	11 726 224	240	11 726 464	11 726 224	240	11 726 464	
損益計算書（自1980年7月1日至2008月2月29日）							
科目	繰越資産	当期変化	累積資産	繰越負債	当期変化	累積負債	備考
現金	315 459	840	316 299				
zamenhofa ekzemplaro	3 297 450		3 297 450				741*4450
tempo	401 800		401 800				82*4900
ｴｽﾍﾟﾗﾝﾄ語の位置測定	3 000	-600	2 400				4*600
貸付金	0	0	0				
出資金				660 000		660 000	別紙のとおり
剰余金				3 357 709	240	3 357 949	
計	4 017 709	240	4 017 949	4 017 709	240	4 017 949	

図書部　2007年度損益計算書			
	自2007年3月1日至2008年2月29日		単位は円
支出の部	科目	収入の部	摘要
	売上	133315	前年度比102%
	振替差益		
	期末棚卸高	3212391	
146111	仕入		前年度比145%
	出版費		zamenhofaj paroladoj追加製作
140	通信費		
600	発送費		
	雑損		
	事務用品費		
3 171 517	期首棚卸高		
27338	当期剰余金		
3345706	計	3345706	

図書部　2007年度貸借対照表			
	2008年2月29日		
借方／資産の部	科目	貸方／負債の部	貸方／負債の部
95094	郵便振替口座		
263825	現金		
109277	普通預金		三菱東京UFJ銀行
700000	長期貸付金		一般会計へ
351343	売掛金		
97980	出版費用引当金		Blanke夫妻CDブック
2778351	取次図書在庫		
434040	出版図書在庫		unuaj libroj/顔のない仲間たち
175900	仮払金		
	買掛金	12600	天風基金
	繰越剰余金	4965872	
	当期剰余金	27338	
5005810	計	5005810	

山口真一

NECはこの地方の国際団体に加盟しています。

名古屋エスペラントセンターは（財）愛知県国際交流協会 Aichi International Associationの「あいちの国際交流団体」として登録しており、今年も「国際交流ハンドブック」に掲載されました。
ときどき団体交流室を利用したりして恩恵をこうむっています。
NECは、NIA なごや国際交流団体協議会 Nagoya International Associationにも加盟しています。

NECでは毎月センター委員会を開いており、会計、書記、総務、「センター通信」編集、蔵書、出版会、ホームページのそれぞれの担当者が報告をしています。国内の主なエスペラント雑誌を収集しています。Revuo Orienta と UEA の ESPERANTO は猪飼吉計さんが寄贈していてくれます。

▶「センター通信」の受け取り方法をお選びください◀

今まで、「センター通信」は紙にプリントした形で届けていましたが、電子出版という形式でメールに添付してお届けできる方法を検討してきました。今までどおり郵便で受け取ることもできます。 次号から メール添付のPDF形式で受け取りたい人は　山田義　yamadapiano@mac.com　までその旨をお知らせください。

紙の「センター通信」を郵送で受け取る
　受け取った郵便物を開封して、開けばどこでも読めます。写真などの印刷仕上げはモノクロです、綴じて本棚などに保管しておくことができます。

PDFの「センター通信」をディスプレイで読む
　着信のメール添付のボタンをクリックすればパソコン上で開いて読めます。写真など版面はカラーになっています。パソコンのフォルダなどにダウンロードしておけばいつでも読むことができるし、テキストなどは部分的コピーもできますから二次加工が容易です。「センター通信」の本文上のリンク項目からWebページに入って行くこともできます。ご自分のプリンタでプリントアウトすれば紙の「センター通信」として保管ができます。センターとしては郵送料などの節約になります。

編 集 後 記・名古屋エスペラントセンターの総会報告を載せました。東海大会の様子もお読みください。７月３日にはセントレアを発って Baltiaj Esperanto-Tagoj に参加しそのあとロッテルダムの UK に出ます。「センター通信」の発行が間に合ってほっとしています。

「センター通信」編集：山田義